平成27年度　業績優秀者返還免除申請書

（様式1-1表）

平 成 28 年 2 月 ○ 日

独立行政法人
日本学生支援機構理事長殿

本申請書記載事項に相違ありません。
免除認定を受けた場合、認定後において日本学生支援機構が免除認定者の職業や業績等について調査を行うときにはその調査に協力することに同意のうえ、特に優れた業績による返還免除を申請します。

フリガナ
氏　　名　○　○　○　○　（印）

押印

修士学生はここに○

博士学生はここに○

大学院名	東京藝術大学　大学院				
課程	○ 修士（博士前期）課程	○ 専門職大学院課程		○ 博士（博士後期）課程	
研究科名・専攻名	○○研究科○○専攻		学籍番号	○○○○○○○	
奨学生番号	6 ○ ○ 0 6 ○ ○ ○ ○ ○ ○		生年月日	昭和 平成 ○年 ○月 ○日	
現住所	〒○○○－○○○○　電話番号 ○○○ （ ○○○○ ）○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○－○－○				
卒業後の連絡先 （現住所と同じ場合でも記入。「同上」「〃」等は不可）	〒○○○－○○○○　電話番号 ○○○ （ ○○○○ ）○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○－○－○				

申請者の情報を

平成28年4月以降に、郵便物を確実に受け取れる住所を記入してください。

■大学院における研究課題等

題目	○○○○○○○○○○○○○○○○○○
概要	○○○○○○○○○○○○○○○○○○

■特に優れた業績の要旨　　（様式1-1裏）

●下記【記入上の注意】4.を参照。
●別紙の「業績評価書」に記入した各業績の内容について、800字以内でまとめること。
●業績一つずつについて、箇条書きにしても可。

【返還誓約書の提出について】

□　に該当するものに〇印を記入（提出予定の場合は提出予定年月も記載）

〇　提出済み

□　提出予定　　平成　　年　　月　頃　大学へ提出予定

※学校の指定する期限までに提出し、リレー口座の加入手続も必ず行うこと。

上記の手続きが確認できない場合、申請を受付けません。

●該当する方に〇を記入●「返還に関する手続」が済んでいない人は大学から推薦できません。
返還手続は期限内に済ませること。

【記入上の注意】

1.「卒業後の連絡先」欄は、平成28年4月1日以降の連絡先（未定の場合は実家の住所）を記入すること。
2.「課程」欄は、該当するものに〇を記入すること。
3.「教育研究活動等の業績」欄は、該当する数字を〇で囲むこと。ただし、専攻分野に関連した業績に限る。
4.「教育研究活動等の業績」欄に〇を付した項目について、裏面にそれらの要旨を800字程度で記載すること。
なお、論文、著書及び受賞については、それぞれ作成又は受賞の年月を記入すること。
また、発表、学会誌等は、その名称、巻、号等を記載すること。
5. 大学院における成績証明書及び特に優れた業績であることを証明する資料を必ず添付すること。
（成績証明書は「教育研究活動等の業績」欄で「授業科目の成績」を選択していない場合でも提出が必要。）

（注）これは様式１の裏面です。様式１は両面刷りで作成すること。

◆指導教員等の推薦理由　　（様式1-2）

奨学生番号	6 ○ ○ 0 6 ○ ○ ○ ○ ○ ○	学　籍　番　号	○○○○○○○
氏　　名	○　○　○　○	研究科名・専攻名	○○研究科○○専攻

●申請者の情報のみ記入すること。
●推薦理由は、申請書類受付後に大学から教員に記入を依頼します。

この学生は、貴機構の特に優れた業績による返還免除に該当していることを認めます。

平　成　　年　　月
日

独立行政法人
日本学生支援機構理事長殿

職名

指導教員名　　印